

生産出荷近代化計画の概要

〔指定産地名〕京やましろ

〔種別〕夏秋なす

〔指定年月日〕昭和53年6月26日

〔計画樹立年月日〕昭和54年1月31日

〔計画変更年月日〕令和8年3月23日

〔区域〕京田辺市、久御山町、八幡市、城陽市

生産及び出荷の近代化に関する基本的構想

- ・茄子部会を核とした共選共販体制の維持・強化を図りつつ、より安定した生産・出荷が可能な産地づくりを推進する。
- ・栽培面では、病害虫発生状況の把握や効果的な防除について、部会相互の連絡調整や情報共有を図り、品質管理と減農薬に努め、安心安全な生産出荷に力を入れ取組を進めていく。
- ・出荷面では、袋詰め対応の増強や加工用販路の継続・拡充により、品質の確保と販売価格の維持向上を図り、農家所得の向上、安定化を推進する。
- ・「ナス農家養成塾」を開講し、ナス栽培を熟知したベテラン農家と関係機関が連携しながら、基本技術を指導し、産地自らが新規就農者を養成する取組を推進する。

生産出荷近代化の現状と目標

項目	現 状(R6)	目 標(R11)
作付面積(ha)	17	17
生産量(t)	1,034	1,071
出荷量(t)	1,002	1,050
共販等量(t)	689	720
共販等率(%)	69	69
収 量(kg/10a)	6,082	6,300